

# 『鳥取県の将来ビジョン』の改訂案について

令和2年10月6日  
新時代・SDGs推進課

8月21日から9月15日まで将来ビジョン改訂素案に対するパブリックコメントを実施したところ、県民の皆様（33名）から、SDGsの推進、女性の活躍推進、若者の県内での起業・創業、関係人口の創出、観光振興などに関して、95件の御意見をいただきました。

これらの意見や、9月県議会における議論も踏まえ、素案の変更を行い、別冊資料のとおり最終案を作成しました。今後は、10月中旬ごろに公表し、この将来ビジョンを踏まえ、総合戦略の見直しを行う予定です。

## 記

### 1 主な変更点

#### 第4章 「2030年の鳥取県の姿」において下記の記述を追加

##### 1 ひらく「(2) 県内企業が持続的成長を実現」

- ・中小・小規模事業者の事業が次の世代・事業者を引き継がれ、新たな事業展開が生まれている。

##### 1 ひらく「(5) 国内外の旅行者が増加するとともに、多様な分野の海外交流が進展」

- ・サイクリングやセーリングなど自然を活かしたスポーツが充実し、国内外からの誘客が進んでいる。

##### 2 つなげる「(5) 国内外との交通ネットワークや物流拠点が充実」

- ・港湾を活用した産業振興が進んでいる。

##### 3 守る「(2) 循環型社会・低炭素社会が確立」

- ・家庭、企業など地域が主体的に再生可能エネルギーを自らの活動に活用するなど、再生可能エネルギーが地域にとって身近な存在となっている。

##### 6 育む「(1) 地域や職場との連携などにより、安心できる子育て環境が進展」

- ・妊娠や出産について、正しい知識の普及が進み、自らが希望するライフプランを実現できる環境が整っている。

##### 6 育む「(2) 地域でチャレンジする者が増加」

- ・産学官連携によるリカレント教育プログラムや起業家養成プログラムが充実し、様々な年齢やキャリアを持った人材が活躍している。

### 2 最終案の概要

#### 第1章 改訂の趣旨・将来ビジョンの性格

##### (1) 改訂の趣旨

2008（平成20）年に策定した将来ビジョンの基本的な考え方を継承しつつ、新型コロナウイルス感染症拡大による社会の変容や、ロボットやAIなどの先端技術の進展とともに、先端技術で代替できない豊かな自然や人々の絆など、今後も変わらない本県の強みを踏まえた、2030（令和12）年における鳥取県の姿（持続可能な地域）を示すため、改訂する。

##### (2) 将来ビジョンの性格

- ・鳥取県のおおむね10年後の姿を県民の皆様と共有し、県政運営の基本となるもの。
- ・県民、NPO、団体、企業、教育機関、行政などの様々な主体と協働・連携して地域の持続可能な発展を実現していくための共通の指針となるもの。
- ・毎年度の予算編成時に具体の施策、個別の事業を県民の皆様とともに進めていくための指針となるもの。
- ・具体的な取組、施策については「鳥取県令和新时代創生戦略」、「令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン」のほか、各分野における各種計画により推進する。

#### 第2章 時代の流れと社会の変化

- ・新型コロナウイルス感染症拡大後の社会変化
- ・SDGs（Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）
- ・デジタル技術の飛躍的進化による変革、Society5.0の推進
- ・人口減少・少子高齢化の進行
- ・地球温暖化と気候変動の状況、自然災害のリスクの高まり
- ・さらなる高速交通網の充実

### 第3章 基本理念

#### 未来への挑戦～持続可能な地域の発展をめざして～

地域に関わる多様な主体の知恵と力を結集して、本県の強みを伸ばし、持続可能な地域の発展をめざすとともに、人生のあらゆるステージにおいて、心の豊かさを実感しながら充実した生活を安心して送ることができる鳥取県を県民の皆様とともに創る。

### 第4章 2030年の鳥取県の姿

#### 1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく

- (1) 時代の変化に応じ新たな需要を獲得できる産業が創出（ニューノーマル型ビジネス等）
- (2) 県内企業が持続的成長を実現（デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進等）
- (3) 場所や時間にとらわれない働き方が実現（テレワーク、副業・兼業、ワーケーション等）
- (4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍（スマート農林水産業の推進等）
- (5) 国内外の旅行者が増加するとともに、多様な分野の海外交流が進展

#### 2 つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る

- (1) 県民、NPO、企業、市町村等との協働により持続可能な地域が実現
- (2) 移住定住（若者のI J Uターン等）や関係人口が増加
- (3) 住民が安全・安心に暮らし続けられる中山間地域が形成
- (4) 魅力があふれ人が集い、にぎわいのある中心市街地が形成
- (5) 国内外との交通ネットワークや物流拠点が充実
- (6) 超高速情報通信網が充実し、ICTの高度活用により産業や生活の質が向上

#### 3 守る 豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ

- (1) 新型コロナウイルスなどの新たな感染症に対応する体制が確立
- (2) 循環型社会・低炭素社会が確立（プラスチックごみ・食品ロスの削減、温室効果ガスの削減等）
- (3) 人と自然が共生し、美しく豊かな自然が継承（生物多様性の維持等）
- (4) 先端技術を活用した医療、地域支援、健康づくりの実践で健康寿命が延伸（遠隔医療、フレイル予防、認知症予防等）
- (5) 地域ぐるみの活動で日常生活の安全が確保
- (6) 災害に強い県土の形成が進み、防災・危機管理対策が向上

#### 4 楽しむ いきいきと楽しみながら充実した生活を送る

- (1) 豊かな自然、食、文化、歴史、芸術を知り楽しむことができる鳥取
- (2) ワーク・ライフ・バランスが充実し、活力ある生活が実現
- (3) いつでもどこでも誰でもスポーツを楽しめる環境が実現
- (4) 誰もが学び、主体的にキャリアアップを図る機会が充実

#### 5 支え合う お互いを認め、尊重して、支え合う

- (1) 多様性を互いに認め、支え合う共生社会
- (2) 家庭・地域・職場で心豊かに暮らせる男女共同参画社会
- (3) 障がい者・高齢者がいきいきと暮らす地域社会
- (4) DV、性暴力や児童虐待などの被害者や、支援の必要な方が生活しやすい環境が整備

#### 6 育む 次代に向けて、躍動する「ひと」を育む

- (1) 地域や職場との連携などにより、安心して子育てできる環境が進展
- (2) 地域でチャレンジする者が増加
- (3) 子どもたちの地域への愛着と誇りが醸成（ふるさとキャリア教育の推進等）
- (4) 社会の変化に対応できる力を身につけた人材を育成（主体的・対話的で深い学びの推進、ICT活用教育等）

## 『鳥取県の将来ビジョン』（改訂素案）に係るパブリックコメントの結果について

- 1 実施期間 令和2年8月21日（金）から9月15日（火）まで
- 2 パブコメ等の意見件数 95件（意見者数：33名）  
※県政アドバイザースタッフや鳥取創生チーム圏域会議からの意見を含みます。
- 3 主な意見と対応方針

分野	主な意見内容	対応方針
SDGs	①SDGsは複合的な取組であり、それぞれにたくさんの項目が関連することに留意してほしい。 ②（総合戦略の）KPI指標の活用に異論はないが、行政（県庁）の内輪だけでの評価ではいけない。将来ビジョンの取組に関して県民・経済界から「実感・共感」を得ることが必要。	①関連する主なゴールについて大小のアイコンで記述。【最終案に反映】 ②総合戦略のKPIについては鳥取創生チーム拡大会議で検証。SDGsの観点からはローカル指標を策定し、様々な主体が参画するSDGsネットワークで共有することとしている。
産業（女性活躍、事業継承等）	①女性のエンパワーメントが進んだ県になってほしいという意味から、女性活躍が伝わる文言等を追加してほしい。 ②県内企業と都市部の企業との連携やオープンイノベーションを促進する視点を入れてほしい。 ③中山間地域の生活を守っている、中小・小規模事業者の持続可能な内容も含めてほしい。	①様々な産業（農林水産、建設、情報通信等）で女性の活躍が進んでいることを記述。【最終案に反映】 ②オープンイノベーションの活発化について記述。【最終案に反映】 ③中小・小規模事業者の事業承継について記述。【最終案に反映】
移住・定住・関係人口	①若者の転出理由としては県内企業数が少なく、自分が希望する職種が存在しないこともある。自分で会社を興すという選択肢を認識させるような取組も必要。 ②関係人口創出を早期に実現し、地域事業者の理解と参画、協力関係を新たに構築することが必要。	①県内企業への就職に加え、自ら起業・創業し希望する職に就いている姿を記述。【最終案に反映】 ②関係人口受入の取組が各地域で展開され、多様な関係人口の関わりによる地域活性化について盛り込み済み。
観光	①サイクリングをはじめとしたアドベンチャーツーリズムを促進してほしい。 ②他地域にない鳥取県独自・唯一のコンテンツが生まれてほしいという県民の皆さんの期待も踏まえて、もう少ししごった表現（世界初、日本初、国内唯一など）であってほしい。	①サイクリングなど自然を活かしたスポーツが充実し、国内外からの誘客が進んでいる姿を記述。【最終案に反映】 ②地域資源を活かした観光コンテンツの具体例として、「世界に誇るまんが山陰海岸ジオパーク、大山」を記述。【最終案に反映】
教育・人材育成	①シビックプライド醸成の方向性は賛成。同テーマを県内小学校教育の必須プログラムとすること、体験教室や研修の場の提供を充実させること等が必要。 ②子どもの教育の中に音楽や絵画に親しむといった、芸術に触れる機会を作してほしい。	①ふるさとキャリア教育や地域を題材とした体験活動や地域課題解決に向けた探究的な学習の充実について盛り込み済み。 ②県立美術館等での体験、学習などを通じて、幼少期から豊かな創造性が育まれている姿を記述【最終案に反映】
デジタル・先端技術	①ITの重視とは、今までできなかったことを実現し、それが生み出す利潤を以前よりも豊かな社会につなげることにある。 ②超高速通信網を早急に整備していく必要があり、数値目標が他県と比較してそんな色ない水準にすることが必要。	①AIやロボットなどの先端技術によって未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出する「Society5.0」の推進について記述。【最終案に反映】 ②現在でも県内普及率は99.5%となっている。
農林水産業	①鳥取県の農産物として県全体の包括的なブランドイメージ確立が進めば、都市部等の県外においても、県産品を選んで購入してもらえる。 ②鳥取県の特産物である「梨」などの担い手の高齢化が深刻な課題。	①世界に通じるブランド力を持った農林水産物が次々と生まれている姿を盛り込み済み。 ②新規就業や他産業からの参入が進み、多様な担い手が数多く農林水産業に従事している姿を盛り込み済み。
支え合い	①多くの人が手話を学び、さまざまな障害に応じたコミュニケーション手段が官民で当たり前保障（情報保障）されている、などの文言を入れてほしい。 ②鳥取の自然の中でおおらかな心を持ち、他人に対する偏見を持たず、お互いを受け入れる社会を目指してほしい。	①情報保障を含めたユニバーサルデザインが広く普及し誰もが暮らしやすい環境が整っていることを盛り込み済み。 ②誰もが認め合い、支え合う社会づくりが進み、誰もが安心して自由に自分らしく生活している姿を盛り込み済み。